

## 産業が中国における出稼ぎ労働者と都市労働者の賃金格差に与える影響

### The Industry Effects on the Wage Differentials between Migrants and Local Urban Labors in China

馬 欣欣

#### [要旨]

本稿では 2002 中国都市家計調査および 2002年中国流動住居者調査の個票データを用い、産業が出稼ぎ労働者と都市労働者間の賃金格差に及ぼす影響に関する実証分析を行った。Oaxaca モデルおよび Brown モデルの要因分解によって、以下のことが明らかになった。第一に、賃金格差に与える影響は、非属性格差(90.05%)が属性格差(9.95 %)より大きい。属性格差における産業の寄与度は8.26%であり、非属性格差における産業の寄与度は29.09%である。第二に、産業間格差の寄与度が 7.91%、産業内格差の寄与度が 92.09%であり、産業が出稼ぎ労働者と都市労働者の賃金格差に与える影響は、産業内格差が産業間格差より大きい。また、産業内格差では、労働生産性要因を含む各要因の量が同じでも賃金が異なる要因の寄与度は、198.84%である。同一産業内における都市労働者と出稼ぎ労働者に対する差別的取り扱い、出稼ぎ労働者と都市労働者間の賃金格差の主な理由であることが明らかになった。

ファイル名 : 投稿論文の要旨 (慶應馬 090416)  
フォルダ : F:\投稿\アジア経済\産業分断化と賃金格差\最新  
テンプレート : C:\Documents and Settings\kenkyushien  
center05\Application Data\Microsoft\Templates\Normal.dotm

表題 :

副題 :

作成者 :

キーワード :

説明 :

作成日時 : 2009/04/16 11:57:00

変更回数 : 2

最終保存日時 : 2009/04/16 11:57:00

最終保存者 :

編集時間 : 0 分

最終印刷日時 : 2009/04/21 11:07:00

最終印刷時のカウント

ページ数 : 1

単語数 : 91 (約)

文字数 : 521 (約)